

平成30年度第2回 名張市地域公共交通会議 議事概要

日 時 平成31年1月25日（金）

午後3時00分より

場 所 名張市防災センター 防災研修室3

出席者：（敬称略）

（1）委員

藤本 勝 （市民公募）
田 靡 雄一（市民公募）
室谷 芳彦（地域づくり代表者会議副会長）
姫野 光子（名張市老人クラブ連合会女性部副会長）
水本 憲二（名張市保育所（園）認定こども園保護者会連絡協議会会長）
松本 幸正（名城大学理工学部教授）
中平 恭之（近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科准教授）
森内 涼 （代理出席、近畿日本鉄道株式会社総合企画本部計画部主査）
仲 範和（三重交通株式会社伊賀営業所所長）
深山 美芳（深山運送有限会社取締役会長）
豊永 育子（公益社団法人三重県バス協会）
森澤 淳 （三重交通労働組合伊賀支部支部長）
福田 勝許（伊賀建設事務所副所長）
河本 直紀（三重県名張警察署交通課長）
伊藤 繁明（国土交通省中部運輸局三重運輸支局主席運輸企画専門官）
吉川 行洋（三重県地域連携部交通政策課長）
前田 國男（名張市副市長）
谷本 浩司（名張市都市整備部部長）
田中 明子（名張市地域環境部長）

（2）オブザーバー

福山 悦子（名張市民生委員児童委員協議会連合会副会長）
佐野 勇 （国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課課長補佐）
松本 一彦（代理出席、三重県県土整備部都市政策課都市計画班主幹（班長代理））

（3）事務局

都市整備部都市計画室3名

会議の公開・非公開 ： 公開

傍 聴 人：0名

報告案件：①道路運送法に基づく名張市地域公共交通会議について

協議案件：①平成30年度上期の取組及び今後の取組について

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事

(1) 道路運送法に基づく名張市地域公共交通会議について

(事務局より資料に基づき説明)

座 長 ありがとうございます。これまでに道路運送法に基づく名張市地域公共交通会議で決議された内容について改めてご報告いただいたということであります。何かご質問ご意見等がございましたらいかがでしょうか。特に無いようでございますので、次の議題に移りたいと思います。

(2) 協議案件1 平成30年度上期の取組及び今後の取組について

(事務局より資料に基づき説明)

座 長 ありがとうございます。この1年事業推進部会と連携協議会の両部会で行っていただいた内容について、連携協議会は評価になるでしょうか、ご報告をいただきましたがこれに関してご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。あるいは部会長さんから補足などがございましたら、いかがでしょうか。

委 員 利用状況を見せていただいた中で、みどり号さんとコモコモ号さんは近鉄プラザ閉館の影響で利用者数が減ということでしたが、最近桔梗が丘西に新しくスーパーができましたが、みどり号さんとコモコモ号さんがそっちの方に延伸をするという計画はありませんか。いつも駐車場がいっぱいなので、そっちの方にお客さんをとられているのではないのでしょうか。

事務局 今現在の報告として、みどり号とコモコモ号について、桔梗が丘西のスーパーへの路線延長は計画として聞いておりません。ただ、みどり号の利用者につきましては当然車の無い方などが買い物などのためにみどり号に乗って桔梗が丘駅、近鉄プラザなどに行くためにご利用いただいていた方が多いと思いますが、それが閉館となった後で今まで利用していた方が桔梗が丘駅に行く理由が無くなってしまったということで、当然利用者は減ってしまいました。それらの方はどうしたかという、おそらく桔梗が丘西のスーパーまで徒歩で、緑が丘でしたら歩くのが大丈夫な方でしたら行けますので、そういったところへ流れていっていることは考えられますが、まずもってそれに伴うルートの変更は考えられていないということです。

座 長 それでも買い物に困られている人がいるのであれば多分地域でそのスーパーに繋ごうという声が出てきてまた検討していただけるのではないのでしょうか。一方で近鉄プラザに新しくお店が入ったようなので、それも含めたうえで今後検討されるのではと思います。ただ、これは聞いた話ですが今回入ったのはスーパーですが、以前にあった近鉄プラザは食品だけではなく色々なものが売っていたようなので、だいぶ質が変わってきているようです。一番心配なのは「もうそれだったら出歩かなくていいや」となることで、病院に行ったり食料品は買えますが楽しみが無くなってしまったということかもしれません。それがこういう数ではないのかなと気がする一方で、またお話を聞かせていただきたいのですが、はたっこ号も

同じく桔梗が丘駅に繋いでいますが、大きく減っていないので、近鉄プラザの閉館によってすごく大きく減ったところとそうではないところがあり、そういう意味では利用のされ方が違うのではないかという気がしますので、その辺も合わせてお調べいただけたらと思います。ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

委員 要望として言わせていただきたいのですが、まずこのケンコーマイレージ事業は非常にいい事業だと思っております。これでナッキー号の乗車率も上がるのではと思っておりますが、今現在、時間帯によりますがナッキー号はかなりの乗車率がございます。お客さんもパンパンになるぐらいの乗車率があり、その中でさらに乗車が増えるとなりますと現在は乗り切れないという事案は発生しておりますが、今後そういったことも懸念されるかなと思われます。先ほど事務局の方の説明にもありました今後の車両の大型化、また路線の再編としてしっかりと協議をしましていいものにしていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

座長 ありがとうございます。うれしい悩みかもしれませんがいかがでしょうか。

事務局 ありがとうございます。ご要望として聞かせていただきましたが、利用者の方からも車両の大型化の要望もございます。ただ、時間帯が限られることや利用の仕方を毎年行っている乗込み調査などでもう少し精査し、検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

座長 ちなみにマイレージでナッキー号の利用はそんなに増えますか。もちろん増えることを期待しておりますが、今以上に乗り切れなくなるという想定はしていますか。

事務局 現在ケンコーマイレージの取組の状況ですが、今はお買い物券への引き換えしかございませんので、詳しい数字はわかりませんが年間で見込みを含め600程度の引き換えがあるとされております。そのうち、どれくらいの方がこの乗車券に引き換えていただくかは予想もつかない状態でございますので、一旦、ナッキー号で試験的に始めさせていただいて、今後水平展開などについても考えていきたいと思っております。

委員 既存の路線バスの中にも免許返納されたお客様が増えております。その方もナッキー号を利用されることも考えられますので、なにとぞご検討をお願いいたします。

座長 ありがとうございます。願わくばこういうケンコーマイレージ制度をきっかけに免許を返納しようとしてバスの利用に移っていこうとなればいいですね。そしてバスに乗り切れないということが起こってきまして、こんなにうれしいことはないですし市も大型化を考えますと言ってくれているのでそういうかたちでどんどん増えてくれるとありがたいですね。

委員 私は特別極端には増えないと思います。というのはケンコーマイレージのポイントを取りに行っている方というのは例えば市民センター主催の行事などが多数だと思いますが、市民センターに行くのはみんな自分の車で行っています。ただ、その乗車券をもらったら友達や親にあげるといのは考えられますが、ほとんどの人はナッキー号を利用する可能性はひよっとしたら低いかもかもしれません。市民センターに来る人は車で来るので、蓋を開けてみないと読めないですが少ないかもしれないですね。考え方の方向としては素晴らしいと思っておりますので、急激に増えることがあれば市と三重交通さんで協議していただきたいと思っております。

座長 そうですね。多分そんなに増えないかなと思っておりますが、倍になるまでもちょっとでも増え

てくれたらやった方がいいと思いますし、どんどん広がっていくといいなと思いますのでぜひともよろしく願いしたいと思います。これはちなみに聞きそびれたかもしれませんが、ナッキー号に乗るたびに1ポイント貯まりますか。

事務局 今のところポイントの付与は市や地域が主催する健康に関するイベントに参加した場合のみポイントの付与となりますので、将来的にはご指摘いただいたようにナッキー号に乗るとポイントが貯まるように縦方向の展開も考えていきたいとは思っておりますが今のところポイント付与はイベント参加のみとなっております。

座 長 私の認識不足でした。いろんなイベントに参加してポイントが集まって5ポイント集まれば500円分のナッキー号のチケットに替えてもらえるということですね。

委 員 資料を見せていただきますと、ナッキー号についていろいろされていることはいいのですが、美旗さんのはたっこ号はルートを新設したので利用者を維持しているという解釈でよろしいですか。

委 員 そうですね。

委 員 エリアを広げて乗客が増えるというのは当然だと思いますが、その他を考えてください。減っているんですよね。将来的には乗る人がより少なくなるという感覚と、本当に考えるべきなのは少なくなっている要因を考えることだと思います。ほっとバス錦も車両を小さくしてより地域を細かく回っていくという考えで進めていくことを提案させていただきましたが、そういうかたちですよ。今後他の地域で利用者が減っていく要因をどう考えていくかだと思います。本来必要なのは、はっきりと言うと年配の方、足の悪い方そういう人を救うためにこれは作るのですよね。でないとこれは何のためのものですか。だから本来考えるべきはだんだん乗る人が少なくなっていくのをなぜかと考えることによって、どうでしょうか。私は本来必要だと思うのは本当に困っている方は病院に行きたい、買い物に行きたいというのが大半だと思います。あとは通勤通学をされる方もいると思いますが、ほとんどコミュニティバスに乗るのは買い物、病院だと思います。それをもっと根本から考えていかないと。私も足が悪く100m歩くのがつらいのですが、バス停まで100mも歩くのがつらいです。だったら近くまで来てくれるようなバスがあれば助かると思います。もっとそういうことを考えて地域公共交通として本当に地域のために名張市として考えていってほしいと思います。よろしくお願いします。

座 長 おっしゃるとおりです。こういうとにかく右肩下りの路線がいくつかありますがその原因を正面から向き合って考えていただくのが大事だと考えておりますが、想定されるのは皆さんお分かりだと思いますが、今まで利用されていた方々がだんだん体調を悪くして減っていく、一方で新しく利用される方は増えていかない。他の自治体もそうですがそういったことでどんどん右肩下りになってゆくゆくはそのバスさえも無くなってしまい次の手段にということになってしまいます。それは新たな利用者の利用ニーズに応えきれていないということになるかなと思います。実はそういう意味で言ったのですが、はたっこ号さんは大きく減っていないというのは新たな利用者の方をうまく取り込んでいる。そういう仕組みを入れるのか、あるいはそのまま細くなっていった段階で次の交通手段へ移っていくのか、これは地域の人が考えることだと思います。そして新たな利用が伸びてこないという意味はそのの

地区の方が、先ほど免許返納が進んでいるというお話がありましたが、それは三重交通さんやナッキー号など便利な交通手段があるところはもうやめようと思うと思います。ところが、やめるのに決断ができないというのはおそらくギリギリ最後の最後まで公共交通に移ることはない、そして車に乗れなくなった時にはもう歩けないという段階にあるのではないかと思いますので、そうではないような公共交通手段にして、本当は早くそういった手当をしてあげるといいかなと思いますが、それを地域の方がどこの地域にどのように作っていくかというところを考えていけないといけない段階になっていると思います。いくつかの路線に関してはデマンドで定時定路線にこだわらなくてもいいということでしたが、そういう路線でいくのか、新たな方々に乗っていただけるようにするのか、そういったところを考えていけないといけないと思いますが、事務局から何かありますか。

事務局 委員の方からもご指摘をいただいているところですが、事務局なりの分析を言わせていただきますと、特にはたっこ号さんの場合ですが、運行のスタートも小さい芽を大きく育てると言いますか、まず最低限の部分から走らせていただき、地域の方の認識が高まったところで路線の水平展開をいただいているということで、新しく使われる方が増えているというところでございます。近鉄プラザ閉店に伴いまして、思っていたよりも利用者が減っていない要因といたしましては実ははたっこ号は地域を越えて伊賀市のきじが台というところも運行いただいております。こちらの方、残念ながら伊賀市さんの交通網が非常に弱いところになりまして、このはたっこ号が唯一名張市内に出ることができる移動手段であるということで、移動する目的が近鉄プラザ以外、要はここから出るには、はたっこ号しかございませんので、近鉄プラザ閉館の影響は大きくなかったという分析をさせていただいております。それと関連して、コモコモ号やみどり号は、はたっこ号とは別にこちらはどちらかといえば当初から全域を網羅する路線で走っております。ですので、初めから大きく広げましたのでその利用者の方が足腰弱ってきてバス停まで歩いて行けないという状況で、年々利用者の方が減っていったらと。また、全域に走っていただいておりますので、新たに自動車から乗り換えて乗っていただく方が増えていけないということで苦慮されております。ですので、コモコモ号さんにいたしましても一番乗っていただいているさつき台から桔梗が丘の間のサービスをもう少し厚くして他については違う移動支援を考えるなど、本当のニーズに合った運行形態について検討していただくというお話も聞かせていただいておりますので、昨年から実施している乗込み調査で利用者の方がどこに不便を感じているか、どの距離なら歩いていただけるか、こういったバス停へのアクセスの条件も考えながらより利用しやすい交通の環境を一緒に考えていきたいなと思っております。

座 長 はい、ということでございますが、ほかにご意見ご質問等ございませんか。

委 員 先ほどもありましたが、買い物と病院は最低限の人としての生活のところだと思います。また、ナッキー号の大型化についてもドアにへばりついて乗っている状態ということで、高齢化も進んでおり足腰が弱くてバス停に行くのも大変だという方が、果たしてバスに立って乗れるのか、乗ろうという気持ちになるのかと思います。元気な方は自家用車に乗り、そろそろ免許返納しようという方は足腰が弱くなって果たして座れないバスに乗れるのか、そして警察の方もいらっしゃいますが高齢者の車内事故も増えており、骨折をすると交通事故のカ

ウントに入ります。ドライバーさんは十分気をつけておられると思いますが、そういう意味では高齢化社会でのバスの利用は、大型化＝座れるということも必要だと思います。事業推進部会の前回の意見にも若い方が席を譲らないのはどうかという意見もありました。どうすればいいのかという意見も出ていましたが、三重県の方が推進しているヘルプマークの取組もあるということも出ておりましたが、やはり座れるということと周りの方の思いやりも大事ですがバスにいっぱい乗っているから乗り継ぎは止めておこうとなるかもしれませんので、大型化にするかどうかもありますが、安全面も大事かなと思います。

座 長 おっしゃる通りだと思います。コミュニティバスというのは、イメージでは吊革につかまって乗るというイメージはないですね。ところが、実際にはコミュニティバスといってもそんなバスがあったりしてお年寄りの方々が吊革につかまらないといけない場合もあります。ただ、事業ベースとしてはその方がありがたいといったかたちで、ともすると、だんだん行政側の財政状況から見るとそういったところに目が向かなくなります。そうではないですね。ただ、全員が座れる状況は収支状況としては決してよくないのでどうしても目立ってしまったりするのですが、やはり超高齢化社会でお年寄りの方に使っていただこうと思えばそういったことも大切だと思います。そういう意味でバスはシートが限られますので、まずはマナーアップをして皆さんで席を譲りあう環境ができればいいなと思いますが、先ほどの話では三重県さんが取り組まれているということで、そういったところで皆さんで情報共有しながら進めていけたらと思います。ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

委 員 名張市のデータを分析している観点から少し申し上げますと、名張市は人口減少も高齢化率も進んでいることはご存知かと思いますがそれに伴い、実は自動車の保有台数は年々増加しています。なおかつ、福祉関係の輸送については年々大きな減少もなく推移しています。これを考えますと、先ほど座長がおっしゃったようにギリギリまで車を運転して運転できなくなったら福祉系の輸送に依っているといるという状況がある程度想定できるのかなと思います。ただ、公共交通についても利用できる方は外出支援等の観点から見ても必ず必要となってくるので、これはコミュニティバスだけではなく三重交通さんや他の事業者さんと協力しながら運行を続けていかないと、おそらくどちらかがだめになると共倒れになってしまう危険性があるので、そのあたりを今後考えていかないといけないと思います。他にもいろんなデータがありますが、みどり号さんの話が出ましたが、みどり号さんの前回の乗込み調査の結果を見ると、通院利用の方が他の路線と比べると多いという特徴があります。それがどうというのはまだわかりませんが、今後また乗込み調査を実施するということで、乗車バス停と降車バス停聞いており、それによってODのデータが出てくるので、それで比較をすればどこで乗ってどこで降りたかの増加と減少傾向がわかると思いますので、みどり号さんはかなり減っていますので、それを見ればどういったことが原因かがおそらく見えてくるのではと思います。桔梗が丘西のスーパーは、北側の方にとっては行きやすいですが、西側の方にとってはかなり距離もあるのでそんなに客が流れているのかと言われればそうでもないような気がします。ですので、このみどり号さんが減少しているというのは、純粋な買い物客というのはそもそもこれくらい的人数かもしれません。近鉄プラザは服屋さんなどもあり魅力的な施設だったので、週に2回行っていたのが週1回しか行かなくなったということも考

えられますので、そういったところも今後調査含めて把握していかないとなぜ減ったのかというところがなぜ減ったのかというところが分かりづらくなっているのでは是非詳細に調査の方を名張市さんとしていかなければならないと思います。あららぎ号さんで言いますと、実はかなり複雑な路線になっています。ですので、もし新規開拓しようとするのであれば、もう少しシンプルな路線にしないといけないところですが、利用者数がたくさんあるわけでもないの、定時定路線にこだわる必要もないのかもしれませんが。シンプルにした方が利用者は増える可能性はあるかと思います。

座 長 ありがとうございます。いずれにしても乗降調査のデータ分析、検証の結果等またご報告いただければと思います。それから、シンプルさって大事ですね。バスってここだけに限らず一見さんお断りのシステムでして、なかなかわからないんですよね。よく言われるのが「不便以上に不安」ということです。そういった意味ではわかりやすさ、どれもこれも回っていかうと思うとすごく複雑になってしまっていて結局誰にとっても使いにくいことになってしまいますから、思い切って切るところは切ってシンプルにというのも1つの案かもしれません。その他いかがでしょうか。特に、ケンコーマイレージとナッキー号の乗車券の交換というのですが、これは運賃制度の変更というわけではなく、先ほど事務局からもあったように利用者の方々からすると5ポイントにつき5枚無料券がもらえますので、無料で乗れることとなりますが、そのお金に関しては交通事業者さんは、市の方に請求して同じ額だけ引き換えてもらえるということですので、運賃制度の変更にはならないという認識でございますが、運輸支局さん、そういうことでよろしいですね。

委 員 はい。

座 長 そういうことで、先ほど賛同の声も多かったと認識しております。いかがでしょうか。事業推進部会の報告に関しては、いろんなことをやっていただいているなと思います。引き続き来年度もやっていただきたいと思いますし、この行き先別時刻表は素晴らしいものだと思います。どれくらい利用されているのかはわかりませんが、こっそりと置いてあるのが、本当は目立つところに置きたいのですが、なかなかそれも難しいので各交通事業者さん是非こういうのを目立つところに置いていただくようにご協力いただければと思います。また、駅の案内も第一歩としては非常にいいと思います。マイ時刻表は少しすべってしまったみたいですが、工夫してやり直しをするということでぜひまたお願いしたいと思います。先程の繰り返しになりますが資料の1-2に関しましては、特にご異論無かったと思っておりますので会議としてもご承認いただいたということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。2月1日からということで、爆発的とはいえないけれど、ちょっとでも増えることを期待したいですね。資料2に関しましては、ご意見ありましたように原因追及が必要とのことであります。それを中平先生に分析していただけるということで事務局とも原因を捉えながらその地域の将来にとってふさわしいものがどういうものなのかまた検討を進めていただければと思います。それでは引き続き資料3のご説明を事務局からお願いします。

(事務局より資料に基づき説明)

座 長 ありがとうございます。これは皆さんとともに策定いたしました網形成計画で行う事業ですが、その評価ということでできているもの、いないものを明確にさせていただいたということ

で、いくつかは残念ながら予定通りできていないものもありますが、概ね予定通りではありませんがやるべきものはできているというとも見れますし、全然なっていないというご意見もあるかもしれませんが、これに対してご意見ご質問何なりと伺えればと思いますがいかがでしょうか。特にできていないのはハード整備のところでは予算などの関係や場所の関係もありますので、それからいろいろな調整等も必要ですのでなかなか現実的には難しいところもあるのかもしれませんが、この後路線の再編が明確になってある拠点というのができれば着手ができるかもしれません。逆に言えば今から変わるかもしれませんので今の段階では手を入れることができないといったところかもしれません。いかがでしょうか。これならこういうかたちでやれるのではないかと、あるいはすでに赤いのですがこういったものもまだまだやれるなというご提案があれば大変ありがたいのですがいかがでしょうか。

委員 赤枠の部分ですが、IC カードの導入について、三重交通さんでエミカを導入されているということで、今後名張市でしていく予定はありますか。また、もし IC カードを利用できるのでありましたら、座席のところに IC カードはこの種類が使えますよということを明記していただくと、このバスに乗ってはいいいけどこの IC カード使えるのだろうかという不安があったりしますのでそういう計画はいかがでしょうか。

事務局 資料にあるように導入の検討を始めていたのですが、状況としては車載器の掲載や三重交通さんが導入しているエミカにつきましてコミュニティバスでもそういった IC カードを使えるようにしたいなと思っております。こうすることによりまして乗込み調査等させてもらっていますがこの IC カードがあればどこで支払いをされたかで OD がわかりますので、そういったデータも蓄積していきますし、割引が容易に行えるなど利点がたくさんあるのですが、やはり費用もかかるということで、具体的な検討はいったん止まっている休止をしています。導入に向けて頑張っていきたいと考えております。そういう段階でございますので、今三重交通さんはエミカ含めほとんどの IC カードを使っていただけますので、コミュニティバスでもその利用が叶いましたらそういった何が使える、使えないという案内も含めてやっていきたいなと考えております。

委員 ありがとうございます。それを使った結果、状況などいろんなデータが 1 つのところから出てくると思いますので、なるべく進めていただければと思います。

座長 ありがとうございます。エミカは他の公共交通機関と相互互換できるカードですか。

委員 当社独自のエミカに関しましては、他の公共交通機関には乗れません。ただ、他の交通系の IC カードは三重交通のバスでもご利用いただけるという状況です。

座長 なるほど。ちなみにエミカを持っていると何かメリットがあるのでしょうか。

委員 乗車時にポイントが付き、その乗車額によりまして翌月にポイント付与がありそのポイントで乗車もできます。また、乗継時に割引もありいくつかのメリットを付加しております。

座長 そうすると三重交通を使う限りはエミカを持っていた方がずっとお得ですということですね。しかしそれで近鉄などは乗れないと。名古屋のマナカも一緒です。マナカを持っているとポイントが貯まりますがスイカなどでは付かないので両方持たないといけないので不便です。日本だけでなくこの辺のアジア一帯で使える 1 枚のカードを作ってほしいですね。今はそんな状況ではないですね。

- 委員 質問なのか要望なのかわかりませんが、小学校での乗り方教室や乗込み調査など素晴らしいなと思って聞かせていただいていたのですが、子育て世代の若い方の意見も乗込み調査で聞いていただけたらと思います。今はそういった利用はあるのでしょうか。ちょっと前にはほっとバスなどでもそういった利用もあったと思いますが、今はどうでしょうか。
- 座長 ありがとうございます。子育て世代の利用状況を分かる範囲でご紹介いただくとともに、再編等を検討する際にそういった世代の方の意見をどうやって吸い上げるか、すごく重要なことですね。新規利用者もその層を狙うのも大事だと思いますので、その辺いかがでしょうか。
- 委員 前回の乗込み調査のデータの中では、子育て世代の方の利用はほぼありませんでした。多くは高齢者の方と通勤・通学が一部あるくらいなので、高齢者の方の通院・買い物での利用が多いです。子育て世代の方の利用も狙っていくべきで、僕個人としてはどんな些細な需要でも拾っていかないとと思うのでその辺も大変重要なのですが、実態はコミュニティバスだけで見ると、他の路線バスなどとは違い利用は少ないです。
- 座長 それではよろしいのでしょうか。ではどのように意識をとらえるかということですね。前、この会議に子育て世代の方がお見えで、コミュニティバスを利用されているというのがありましたので、あると思います。ただ、その方にとって利用しやすいかどうかということと必ずしもそうではないかもしれないのでそういった、例えばベビーカーをお使いの方々にも利用しやすいようなバスを作ってあげないといけないと思います。事務局どうですか。
- 事務局 子育て世代のニーズの把握に関連して、先ほど事業推進部会の取組の中にもありました「かがやき」という施設がございまして、そちらでお子さんがバスの乗車体験や塗り絵をしながらお話を聞かせていただく機会もございます。その中に、現在は子どもさんにバスに親しんでいただく取組にとどまっておりますが、先ほどの反省もふまえ、マイ時刻表の取組があります。お子さんがバスで遊んでいただいている間に、親御さんに日々の移動の仕方やバスに対する要望などの聞き取りもさせていただいてニーズを把握する機会に変えてもいきたいなと思っております。また、昨年これは子育て世代ではありませんが、高校生に対して学校単位のアンケートをさせていただいています。その中で、高校生は休みの日に動きたいのですが、市内のコミュニティバスは残念ながら土日運行をしておりませんので、そういった若い方のニーズとしては土日も運行してほしいというものだと思います。それと同じような理由で子育て世帯の方も子どもさんと一緒にお出かけする際に普段は車のところをバスで行こうかという時に、土日に利用できないのでそういったことも検討をしているところです。
- 座長 ありがとうございます。名張市がどうかはわかりませんが、名古屋を中心とする路線では子育てベビーカーの利用が増えているなという印象があります。それに比べ少し不便なところではどんな現象が起こっているかということ、今若者の車離れってよく聞きますよね。内の学生も全然車に乗らないのですが、勤め始めると仕事などで車に乗ることになると思いますが、結婚をしてしばらくは多くの若夫婦は、統計を取っているわけではないので印象でしかありませんが一家に一台で暮らしていきます。場合によっては車なしかもしれませんが。ところが、子供ができた途端動くのが不自由になり、旦那さんが車に乗っていってしまうと奥さんの車がなくなってしまう。そこにコミュニティバスがあればコミュニティバスで上手に動くのですが、交通が不便だとそこでもう1台車を買おうかということになります。それが

軽自動車なんですね。だから今軽自動車が今ものすごく売れています。ひょっとしたら名張で車の保有台数が増えてきているのはそういうことかもしれません。そういう意味では本当はそういう方々も使えるような公共交通を作ってあげないと逆に言うとそういう方々の移住は促進されない可能性もあるかもしれません。あと、コミュニティバスに赤ちゃんが乗ると車内の雰囲気が一気に変わります。赤ちゃんの力ってすごいなって思います。その他いかがでしょうか。

委員 マイレージポイントと乗車券が交換できるということで、素晴らしいことだと思いますがこれは転売されたらどうなりますか。もう1つ、台帳を作るということですがもし美旗の人が10セットとポイントを交換してそれを安部田の人にバス運賃の半額で売ることがあればわかりませんよね。また、申込者の意見を管理する意味は何ですか。

事務局 乗車券に関しては、交換していただいた人だけが使えるものという認識はありません。例えば交換していただいた方の家族の方と使っていただくのも事務局としてはあっていいことだと思っています。結局、この乗車券につきましてはバスという媒体を使っていただく1つのきっかけになればいいなと思います。健康増進の取組の1つとして始めさせていただきますがあまりガチガチに固めたかたちでは使いにくいと思いますので、乗車券への記名などは考えていません。ただ、いつ発行されたものがどのようなかたちでいつ使われたのかぐらいの把握をしたいということで台帳を作成させていただき限りですので、使い方の不正の観点というのはあまり考えておりません。

委員 整理していかないといけないので月に一度精査して、提出して売り上げに計上するんでしょう。で、足らない分は健康増進事業の報償費から出すということですね。

座長 ただ、転売はまずいですよね。

事務局 ここで利用者を把握したい、この実は申し上げにくいのですが、現在ポイント引き換えで買い物券に替える段階でも不正と言いますかおひとりで20, 30枚お友達がいるからと押していただいてこそっと換金しにいらっしゃる方もいるみたいで、そちらは今は記名制にしておき不自然な利用がありましたら口頭で促すなどしていただいているそうです。それと同じように手前どもも一応連絡先も書いていただいて同じ番号が複数枚出回っているようでしたら不正が無いかどうか確認いたします。できる限り皆さんが公平に使えるような監視ができるということで氏名と連絡先は把握していきたいと思います。

座長 そういうところは難しいですね。他市になりますが、乗継券を発行しているところがあります。難しい話ですがそういうところでもちゃんと上手に悪い使い方を皆さん考えられるんですよね。これは完全にたちごっこです。できないようにしてもまた新しい使い方が出てきますし、逆にガチガチにしてしまうと真面目に使っている人が利用しにくくなるので、片目瞑るくらいでいいのかなと思いますが、お金が関係するのでそうとも言ってもらえませんが、まずやってみていろいろな問題が発生すればその時は対応を考えていただくことだと思います。ただ、真面目に利用されている方が不便にならないようにぜひお願いしたいと思います。その他いかがでしょうか。事業に関して、白いところもまだありますので、先ほどの話では平成32年で計画期間が終了ということですので、平成32年までには全部を赤、もしくは赤枠にと思っておりますが、実際には予算の関係ですと、ハード整備がありますがこれ

は必ずしもできない可能性があるとは思っていますがまたぜひできるような努力はしていきたいと、もう1つ難しそうだなと思うのが、市民の方々と一緒にやるバスの乗り方サポート、市民サポーターによる乗降補助がありますが、ここで具体的に何をどうやって検討していただかないといけない。その時にぜひ市民の方々のご協力をお願いしたいと思います。ではよろしいでしょうか。皆様方にこういった状況だにご認識いただきながらそれぞれやれることがありましたらぜひやっていただいて、またこういうのをやりましたよと事務局にご報告いただければと思います。ありがとうございました。以上で協議案件が終了ということになりますが、ちなみに国の補助を受けている自治体では先ほど利用状況を連携協議会の方からご報告いただきましたが、それをABCの評価をしてその結果を国に報告するということになっております。名張市の場合は国の補助をもらっていないということでそこをやらないのですがその代わりに事業評価と利用状況をきちんとチェックして自らPDCAを回しているということでご認識いただきたいと思います。一方で、県の方でも評価をいただいております、幹線系統補助ということになるわけですが、それをその他の項目で三重県からご報告いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

4. その他

地域間幹線系統について

(三重県交通政策課より説明)

座長 公共交通会議ではどうしても自分の地域のコミュニティバスを中心に目が行ってしまうのですが、実はこういう広域の路線を交通事業者さんが走らせてくれています、それに対して要件を満たすと国・県で補助をしてもらっているということになります。それで何とか頑張って運行してもらっていますが、心配なのは2番目の路線で、これ以上下回ると補助がもらえなくなってしまう、ということは交通事業者さんが全部運行経費を持たないといけないので、おそらくもう継続が不可能になると思います。そうするとこの路線も高校生等が通っているものだと思いますが、一気に高校に通うバスが無くなってしまうということになります。そうすると何が発生するかというと、親御さんが送っていかないといけなくなります。家に2台あるといいですがない場合は車を買わないといけないとなりますごく大きな影響が出ます。そうすると次の世代になるとその高校には行けないとなるので進学先から外れてしまうと、そうするとその高校のレベルがどうこうと、非常に大きな影響が出てきますので、皆さんもぜひこういったことにご理解いただきながら過度な車の利用からできるだけ近くにバス停があればバスを利用するというライフスタイルに代わってもらわなければならないようになってくるかなと思いますので、市もこういった路線が続くように、いろいろやっているとありますが、引き続き利用促進をお願いしたいと思います。皆様いかがでしょうか。

委員 私の在住が曽爾村です。曽爾村から通勤しておりますが、住民は減っていています。私は中学校のPTA会長をしていますが、全校生徒は26人で、上の子のクラスが8人、下の子が6人というような状況です。今、地域協力隊というのもあり、定住していただいて何とか人口を増えるようにしておりますが、非常に過疎地域になっております。また、学校につき

ましても一部の地区は榛原駅まで行ったりしていますが、やはり寮の方へ行っているような現状です。今後はどうなるかわかりませんがおっしゃられたような認識はしております。

座 長 ありがとうございます。それは利用促進などのレベルではなく大きな環境の変化として人口減少があつて、子ども、生産年齢人口が減っていくということですね。おっしゃる通りだと思います。そういうトレンドがあるのは間違いないと思いますので、そういう意味ではやれることに限界があるのかもしれませんが、できる限り存続できるように、もう少し待てば新たな交通手段ということでロボットが運転してくれるようになると思いますので、ロボットが運転すれば最初はお金がかかりますが後はタダですので、早くそんな時代が来ればと思いますが、そうすればまたいろんな交通体系が変わってくるのかなと思います。ただ、今申し上げた通り、環境が変わってということも認識していかなければならないと。その他いかがでしょうか。では、こうしたことも認識いただきたいと思います。その他で皆様から何かございましたらお聞きしたいと思いますが、あるいは名張市の公共交通についてこれは言っておきたいということがありましたらいかがでしょうか。

委 員 先ほどの件で、駅前の大型商業施設が閉店したということで、すごく影響があったというお話で関係ないのですが、あそこが閉店してしまうと桔梗が丘駅近辺にはトイレがありません。桔梗が丘には公園が中央に一カ所あり、そこにしか公衆のトイレがありません。店舗が空いていないと入れないんです。私の地区は集会所にトイレがあり、自分たちで清掃等もしています。本当に大したことはありませんが、そういうところもあります。そういう意味では街中にトイレがありますか。駅の構内にしかトイレが無いので、何とかしていただきたいと思います。

座 長 ありがとうございます。すごく重要なことだと思います。特に若者に聞くと、きれいなトイレがいいと。彼らはきれいなトイレに慣れていますので、うちの大学もおかげさまで私立大学でお金があるのでトイレがすごくきれいで、でも彼らにとってはそれが普通になってしまふのですね。すごく大事だとは思いますが、お答えはできないと思いますが事務局から何かありましたら。

事務局 ありがとうございます。ご指摘いただきましたように、従来、市内の駅は大阪への出勤の通過点でしかありませんでした。駅前の大型商業施設が無くなったことによって移動する目的が無くなったのではないかとご指摘も頂いております。もちろんバスに乗るのが目的ではなく要求を満たすために移動するので、そのためには駅そのものを魅力的にというのもまちづくりの観点からは重要な観点として捉えておりますので、もちろんすぐに公衆トイレ含めて駅前の整備がすべて整うというのはなかなか難しいところもございますけれども皆さんが安心して使っていただける公共交通、その中にはトイレのこともあると思いますので、もちろん十分に意識をさせていただいて取り組んでいきたいと考えております。

座 長 ありがとうございます。ちなみにナッキー号が土日運行になれば市役所は開いていないですよ。市役所は幸い結節点になっていないのでいいですが、なった場合は土日のトイレの解放も考えないといけないですね。ご指摘ありがとうございます。その他、よろしいでしょうか。ありがとうございました。いろいろなご意見をいただきまして、活発な意見交換ができたと思います。また、先ほど事務局からのご説明もございましたが、いよいよナッキー号

の再編というのが具体化してきましたので、いろんな形でのご協力をお願いしたいと思います。以上で私の進行を終わりたいと思います。それでは進行を事務局にお返ししたいと思います。ありがとうございました。

事務局 ありがとうございました。それでは、本日すべての議事が終了いたしました。長時間にわたり本当にありがとうございました。それでは、これをもちまして平成30年度第2回名張市地域公共交通会議を閉会いたします。ありがとうございました。